



日本赤十字社一宮市地区の主な事業報告

(2024年1月1日～2024年12月31日)

○災害義援金等の受付

※ 受付金額は受付開始から12月末までの総額

義援金・寄附金・救援金名	受付金額(円)	受付開始日
ウクライナ人道危機救援金	5,634,436	2022年3月10日
令和5年7月7日からの大雨災害義援金 (福岡県、佐賀県、大分県、島根県、秋田県、富山県)	207,275	2023年8月1日
令和6年能登半島地震災害義援金 (石川県、富山県、新潟県、福井県)	7,058,660	2024年1月5日
令和6年7月25日からの大雨災害義援金 (秋田県、山形県)	266,435	2024年8月5日
令和6年9月能登半島大雨災害義援金 (石川県)	506,432	2024年9月27日
令和6年度「NHK海外たすけあい」寄附金	4,425	2024年12月2日

【ウクライナ、イスラエル・ガザ人道危機】

ウクライナやイスラエル・ガザでの戦闘は未だ終息せず、多くの建物、インフラが破壊されました。同時に、人びとの命や健康、住まいや生活が奪われ、極めて深刻な人道危機が起こっています。

イスラエル・ガザの衝突はレバノン武装組織とイスラエルの衝突に波及し、レバノンの国内状況を急速に悪化させました。

日本赤十字社は資金援助のほか、紛争各地に医療をはじめとする人的支援を継続しています。

【令和6年能登半島地震・大雨災害】

2024年1月1日、石川県能登地方で最大震度7の地震が発生しました。重症以上の人的被害は約600人、半壊以上の住家被害は約28,000棟にも及びます。

日本赤十字社は、4月末までに延べ342の医療救護班、延べ119の災害医療救護チームを現地に派遣したほか、毛布16,000枚、安眠セット5,200セットなどの救援物資を提供しました。

また、9月末には同じ地域を記録的な大雨が襲い、再び多くの死者や負傷者が発生しました。日本赤十字社は、両災害に医療や物資を提供しただけでなく、ハンドケア、傾聴など、心のケアについても丁寧に取り組みました。

○災害見舞(住家) 一宮市内で発生した住宅火災の被災者の皆さんに、必要に応じて救援物資をお届けしています。全焼10戸、半焼3戸の被災者36人に、毛布・タオルケット57枚のほか、歯ブラシや、タオル・LED電灯・ラジオなどが入った救急セット13個をお届けしました。また、亡くなられた3名のご遺族に弔慰金をお渡ししました。

○赤十字奉仕団 赤十字奉仕団は、「赤十字のボランティア活動を通じて地域社会に貢献したい」と思う人々によって市区町村ごとに組織されたボランティアグループです。

一宮市赤十字奉仕団は、市や地域の防災訓練への参加・協力をはじめ、避難所で役立つスキルの講習などを行っています。

○市内の献血実績(2024年)

	実施数(回)	参加人数(人)	採血本数(本)
2022年	126	6,375	5,476
2023年	111	6,192	5,407
2024年	112	5,918	5,250

一宮市内には、専用の献血ルームがないため、愛知県赤十字血液センターから献血バスが配車され、多くの事業所や商業施設などの会場を借りて献血が行われます。

献血は無償で血液を提供するボランティアです。献血によりいただいた血液から、輸血用血液製剤や血漿分画製剤が造られ、病気やけがの患者さんの治療に役立っています。日本国内では、少子高齢化の影響により、若い世代が減少する一方で、輸血を必要とする高齢者の数は増加しています。今後も、献血バスを見かけたら、献血にご協力くださるようお願いいたします。



献血の流れ

献血受付／体重測定／質問への回答

ご本人の確認、献血の副作用やいただいた血液の利用目的などについて同意をいただいた上で、献血にお申し込みいただきます。

そして、献血種別の選択、適正な採取量を算出するため、献血前に体重測定を行います。また、患者さんが安心して輸血を受けるため、献血いただく方の健康状態に関する質問に回答していただきます。

問診／血圧・脈拍測定／体温測定

献血者の健康と、血液を必要とする患者をウイルスから守るため、問診を行います。問診の回答内容と血圧・脈拍測定及び体温測定、ヘモグロビン濃度等の結果に基づいて、体調がすぐれない方、以前に特定の疾患にかかった方などは、献血をご遠慮いただく場合があります。

ヘモグロビン濃度測定／血液型事前検査

ヘモグロビン濃度が採血基準を満たしているかどうかの測定や、血液型の事前検査などを行います。成分献血の場合は、血小板数の測定も行います。

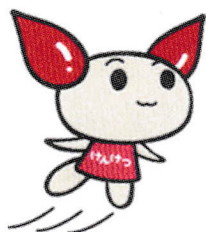
採血

採血ベッドに横になり採血を開始します。採血時間は、全血献血で10～15分程度、成分献血は採血量に応じて40～90分程度の時間がかかります。

休憩

献血後は、休憩場所で十分に水分補給をしていただき、少なくとも10分以上の休憩が必要です。お帰りになる前に、記念品と次回献血可能日などが印字された献血カードをお渡します。ご確認ください。

○献血バス運行スケジュール



愛知県赤十字血液センター (Tel 0561-84-1131) にお尋ねいただくか、同センターのウェブサイトでお尋ねいただけます。



令和6年度 一宮市地区会費・寄付金実績

連区名	会費	寄付金	合計(円)
宮西	0	852,140	852,140
貴船	2,000	944,800	946,800
神山	0	1,135,100	1,135,100
大志	2,000	517,233	519,233
向山	32,000	954,700	986,700
富士	10,000	748,200	758,200
葉栗	0	1,427,500	1,427,500
西成	4,000	3,472,140	3,476,140
丹陽町	3,000	2,145,200	2,148,200
浅井町	18,000	2,281,450	2,299,450
北方町	10,000	1,149,200	1,159,200
大和町	45,000	2,391,647	2,436,647
今伊勢町	52,000	1,858,800	1,910,800
奥町	8,000	737,600	745,600
萩原町	36,000	2,162,050	2,198,050
千秋町	4,000	1,974,943	1,978,943
起	5,000	263,610	268,610
小信中島	0	686,110	686,110
三条	49,000	837,440	886,440
大徳	0	526,600	526,600
朝日	5,000	918,210	923,210
開明	5,000	592,080	597,080
木曾川町	14,000	2,601,300	2,615,300
連区計	304,000	31,178,053	31,482,053
特別募金	法人	102,477円	} 1,306,477円
	個人	1,034,000円	
	奉仕団	170,000円	
合計	32,788,530円		

2024年12月31日現在

日本赤十字社が行う、苦しんでいる人たちを救うための活動は、皆さまからの継続的なご寄付によって支えられています。

令和5年度 一宮市地区費決算

○歳入の部

科目	金額
1. 県支部交付金	8,216,000
2. 雑収入	12,781
3. 繰越金	2,114,578
合計	10,343,359

○歳出の部

科目	金額
1. 事務費	410,995
2. 事業費	5,222,255
(1) 需用費	2,407,535
(2) 募金費 (うち、連区助成費)	2,019,540 (2,014,490)
(3) 社員増強費	433,180
(4) 講習会費	40,000
(5) 協力団体助成費	322,000
3. 災害対策費 (うち、物資備蓄)	2,980,865 (2,643,600)
4. 災害等資金積立金	500,000
合計	9,114,115

単位：円



ご協力
ありがとう
ございました

皆さまからお寄せいただいた活動資金(会費・寄付金)全額を愛知県支部に送金しました。

一宮市地区は、県支部からの交付金等を収入として、地区事業を推進しています。

日本赤十字社一宮市地区
一宮市栄3丁目1番2号
☎ 73-0696